

ドイツロマン派を、ワセオケで。

早稲田大学 交響楽団

定期演奏会

第194回定期演奏会

2014.3.3 (月)

開場 18:00 開演 19:00

Monday, March 3rd, 2014 19:00

東京藝術劇場 コンサートホール
Tokyo Metropolitan Theatre, Concert Hall

指揮：寺岡 清高
Conductor: TERAOKA, Kiyotaka

Brahms
Johannes Brahms

交響曲第3番 ヘ長調 作品90
Sinfonie Nr.3 F-Dur op.90

交響曲第2番 ニ長調 作品73
Sinfonie Nr.2 D-Dur op.73

第195回定期演奏会

2014.3.13 (木)

開場 18:30 開演 19:00

Thursday, March 13th, 2014 19:00

サントリーホール 大ホール
Suntory Hall, Main Hall

指揮：山下一史 (当楽団名誉指揮者)
Conductor: YAMASHITA, Kazufumi

Bruckner
Anton Bruckner

交響曲第7番 ホ長調 WAB.107
Sinfonie Nr.7 E-Dur WAB.107

…ほか

100年の歴史と伝統を持つ早稲田大学交響楽団



早稲田大学交響楽団は、「ワセオケ」の愛称で親しまれる早稲田大学公認オーケストラで、早稲田大学の学部生約350名が所属しています。1913年に創立され、2013年に創立100周年を迎えました。年4～5回の主催公演や大学公式行事における演奏を主な活動としており、昨年度は、当楽団の歴史をたどる「早稲田大学交響楽団創立100周年記念演奏会」(全5回)を開催いたしました。楽団の活動範囲は国内にとどまらず、1978年の第5回国際青少年オーケストラ大会(通称カラヤン・コンクール)での優勝以来、13回の海外公演を行っており、こうした当楽団の活動は各種メディアでも度々取り上げられています。

ドイツロマン派を、ワセオケで。

Bで名前が始まる偉大な作曲家は4人いるが、そのうちロマン派の時代に属るのは、ヨハネス・ Brahmsとアントン・ブルックナーだ。2人は同じ時を生きながら、古典の極致ベートーヴェン、楽劇の創始者ワーグナーという異なる2人の音楽を志向した。しかし、大きすぎる師への尊敬と闘った Brahms、ある種の信仰心とも言えるような愛を抱いていたブルックナー、2人には先人への想いという共通点がある。音楽として紡がれた精神の歴史は、演奏の度に聴く者の前にいつも新たな魅力をもって現れる。

第194回定期演奏会

2014.3.3(月) 開場 18:00 開演 19:00

Monday, March 3rd, 2014 19:00

東京芸術劇場 コンサートホール

Tokyo Metropolitan Theatre, Concert Hall

ブラームス /
Johannes Brahms

大学祝典序曲 作品80

Akademische Festouvertüre op.80

交響曲第3番 へ長調 作品90

Sinfonie Nr.3 F-Dur op.90

交響曲第2番 ニ長調 作品73

Sinfonie Nr.2 D-Dur op.73

指揮：寺岡 清高
Conductor: TERAOKA, Kiyotaka



早稲田大学第一文学部卒業。桐朋学園大学を経て1992年よりウィーン国立音楽大学指揮科に入学、指揮を高階正光、カール・エスティライヒヤ、ウロシュ・ラーヨヴィッチ、湯浅勇治の各氏に師事。1997年イタリア・シエナのキジアーナ音楽院より指揮科最優秀受講生に贈られる「フランコ・フェラーラ大賞」を授与され、1年間ジャンルイジ・ジェルメッティ氏のアシスタントとしてロンドン・コヴェントガーデン、ミュンヘン・フィル、ローマ・サンタチエチーリア管等に同行し研鑽を重ねる。また、2001年より1年半にわたりイタリア・フィエゾレ音楽院においてカルロ・マリア・ジュリニ氏より定期的に指導を受けた他、2000年以降ヨルマ・バヌラ、ネーメ・ヤルヴィ両氏の下で研鑽を積む。2000年ミトローピース国際指揮者コンクール優勝。これまでにヴェニスのフェニーチェ歌劇場管弦楽団、サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団、オランダ放送管弦楽団、モスクワ室内管弦楽団、ウィーン室内管弦楽団を始め、イタリアを中心にヨーロッパ各国のオーケストラへ客演。日本に於いては2001年に大阪交響楽団(旧大阪シンフォニカ交響楽団)を指揮してデビュー。これまでに札幌交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、九州交響楽団等を指揮している。近年はイタリア・パドヴァ管弦楽団、フランス国立ロワール交響楽団、ブラジル・ボルトアレグレ交響楽団、イギリス室内管弦楽団等に客演。大阪交響楽団とは、2004年1月の正指揮者就任以来緊密な関係を続いている。2011年4月、同楽団常任指揮者に就任。ウィーン在住。

■チケット取り扱い

○お電話・Webでのお買い求め

早稲田大学交響楽団事務所

受付時間: 10:00 ~ 18:00 (日曜・祝日を除く)

Tel. 03-3204-3585

Fax. 03-3204-3419 E-mail office@wso-tokyo.jp

Twitter: @wsotokyo

〒162-0051 東京都新宿区西早稲田2-1-17 酒井ビルB1



ホームページ QR コード

<http://www.wso-tokyo.jp/>

Waseda Symphony Orchestra Tokyo

第195回定期演奏会

2014.3.13(木) 開場 18:30 開演 19:00

Thursday, March 13th, 2014 19:00

サントリーホール 大ホール

Suntory Hall, Main Hall

R.シュトラウス /
Richard Strauss

交響詩「ドン・ファン」作品20

„Don Juan“ op.20

楽劇「サロメ」より7つのヴェイルの踊り

„Salomé“ – Tanz der sieben Schleier

ブルックナー /
Anton Bruckner

交響曲第7番 ホ長調 WAB.107

Sinfonie Nr.7 E-Dur WAB.107

指揮：山下 一史
Conductor: YAMASHITA, Kazufumi

1984年桐朋学園大学を卒業後、ベルリン芸術大学に留学、1986年デンマークで開かれたニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝。1985年12月からカラヤンの亡くなるまで彼のアシスタントを務め、以後、デンマーク放送交響楽団などを指揮、着実にヨーロッパでの実績を重ね、1993年から1998年までヘルシンボリ交響楽団(スウェーデン)の首席客演指揮者を務めた。日本国内では

1988年NHK交響楽団を指揮してデビュー、以後国内の主要オーケストラに定期的に出演し、好評を得ている。オーケストラ・アンサンブル金沢のプリンシバル・ゲスト・コンダクター(1991年～1993年)、九州交響楽団の常任指揮者(1996年～1999年)を歴任。また、大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団常任指揮者(2002年～2008年)を務め、2005年秋には、新国立劇場より松村楨三『沈黙』公演が招待され、東京の音楽界にも衝撃を与えた。2008年4月より同団名誉指揮者就任。2006年4月からは仙台フィルハーモニー管弦楽団より指揮者として迎えられ、R.シュトラウス「英雄の生涯」、リム斯基＝コルサコフ「シェエラザード」、シューマン：交響曲第2番・交響曲第4番などのCD制作も行うなど積極的な活動を展開。2009年4月から2012年3月まで同団の正指揮者を務める。2008年9月に行われた愛知県文化振興財團主催によるヴェルディ「ファルスタッフ」の公演においても大きな成果を上げ、「第17回三菱UFJ信託音楽賞」を受賞。2009年4月にはサンクトペテルブルク交響楽団定期に出演し、大成功を収めた。また、2011年2月にはシューマン作曲歌劇「ゲノフェーファ」日本舞台初演や、2013年1月には水野修孝歌劇「天守物語」を行うなど、現在、オペラ、オーケストラの両面において着実な成果を積み上げている指揮者として、ますます注目を浴びている。



© K.Miura

好評販売中!

S席: 3,500円 A席: 3,000円 B席: 2,500円

○チケットぴあのお買い求め

チケットぴあの Tel. 0570-02-9999

@ぴあ http://www.pia.co.jp/

【第194回】Pコード: 212-445 【第195回】Pコード: 212-447